

[アセフェート粒剤]

農林水産省登録 第21904号

性 状：類白色細粒

毒 性：普通物

危 険 物：—

有効年限：3 年

包 装：1kg×12

スミフェート® 粒 剤

有効成分：アセフェート(PRTR・1種)……5.0%



こちらのバーコードをスマートフォン等で読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の新しい情報をご覧になれます。また、詳しい読み取り方・最新情報については11頁をご覧ください。

[適用と使用法]

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法	
キャベツ	アオムシ コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時	本 剤：1回 アセフェート：2回 (#1)	植穴処理	
はくさい						
ブロッコリー	ヨトウムシ	6kg/10a (2g/株)		1回	株元散布	
だいこん	アオムシ コナガ アブラムシ類	3～4kg/10a	は種前		作条散布	
かぶ	アブラムシ類	4kg/10a	21日前	1回	株元散布	
なばな		6kg/10a (2g/株)	定植時		土壌混和处理	
きゅうり	オンシツコナジラミ アブラムシ類 アザミウマ類	3～6kg/10a (1～2g/株)	定植時	1回	作条散布 又は植穴処理	
トマト	アブラムシ類 オンシツコナジラミ					
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ アザミウマ類					
ごぼう	アブラムシ類	3～6kg/10a	75日前	本 剤：1回 アセフェート：2回 (#2)	株元散布	
みずな		6kg/10a	定植時		1回	作条散布後 土壌混和
ばれいしょ		3～6kg/10a	植付時	本 剤：1回 アセフェート：3回 (#3)	作条散布	
こまつな			は種前		1回	作条散布後 土壌混和
チンゲンサイ			定植時			
たばこ	ヨトウムシ アブラムシ類	3～6kg/10a	移植前	本 剤：1回 アセフェート：2回	作条散布後 土壌混和	
花き類・ 観葉植物 (きく、トルコギ キョウを除く)	アブラムシ類	1～2g/株 (但し、9kg/10aまで)	発生初期		5回	株元散布
	アザミウマ類	2g/株 (但し、9kg/10aまで)				

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
きく	アブラムシ類	6～9kg/10a	発生初期	5回	株元散布
	アザミウマ類	1～2g/株 (但し、9kg/10aまで)			
	マメハモグリバエ	6～9kg/10a			
トルコギキョウ	アブラムシ類	1～2g/株 (但し、9kg/10aまで)			
	アザミウマ類				
つつじ類	ツツジゲンバイ	2g/株			
芝	スジキリヨトウ	10kg/10a			全面散布
	シバツトガ				
	タマナヤガ	5～10kg/10a			

#1：定植時までの処理は1回、定植後の散布は1回

#2：株元散布は1回、散布は1回

#3：植付時の処理は1回、植付後は2回



効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて秤量し、使いきる。
- 定植時に植穴処理する場合、十分に薬剤と土壌を混和する。（苗質により薬害）
- 降雨直後等土壌水分が極端に多い時の定植時植穴混和処理はさける。（薬害）
- つまみ菜・間引き菜には使用しない。
- 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。



安全使用上の注意



- 本剤の解毒剤としては動物実験で硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤が有効であると報告されている。
- 眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。（刺激性）
- 桑葉にかからないように注意する。（蚕毒）
- ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
- アブラバチなどを放飼する場合の使用はさける。
- 使用時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして洗眼する。
- 街路、公園等で使用する場合、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立て、人畜に被害を及ぼさないよう注意する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。

12頁記載の注意事項、(1)、(2)、(3)、(4)－Aも合わせてお読み下さい。

〔品目特性〕

- 有機リン系殺虫剤です。
- 根からの吸収により、作物全体に有効成分が行き渡って安定した効果を発揮します。
- アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミなどの吸汁性害虫と、アオムシ、コナガ、ヨトウムシといった食害性害虫の両方に防除効果を発揮します。